

令和6年度 さいたま市立土呂中学校第2回学校運営協議会議事録

1 日時 令和6年11月6日(水) 11:20~12:30

2 場所 土呂中学校 学校図書館

3 出席者 省略

【次第】

4 学校運営協議会

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 生徒会活動報告・意見交換
- (4) 学校概要説明



生徒会本部役員による活動報告

- ①学習面
- ②学校行事
- ③部活動
- ④土呂中学校と地域の連携活動
- ⑤SDGsと関連した食育(研究委嘱 R8に研究発表)

(5) チャレンジスクールとボランティア活動について

(6) 熟議

テーマ「土呂中学校と地域の連携活動」

- ①地域のボランティア活動報告
- ②秋以降のボランティア活動紹介
- ③ボランティア活動に期待すること

※付箋と模造紙を活用し、3つのグループに分かれて熟議し、意見をまとめる。

【意見の申出】グループごとで発表

【提言】総括して第3回にまとめる

(7) 本日のまとめ

(8) 諸連絡

(9) 閉会のあいさつ

5 議事録概要

(1) 熟議のテーマについて

○今年度のテーマは「土呂中学生が地域でできるボランティア活動実践編」を基に、「土呂中学校と地域の活動連携」について、実際土呂中学校の生徒がボランティア活動に参加して見えてきた地域のメリットや土呂中学校のメリット、また、共通する相乗効果について、3つのグループで熟議をしてもらった。



校長によるPWでの学校概要説明

【地域のメリット】

- ・人員不足解消が見込まれる。
- ・伝統文化が次世代へ繋がっていく。
- ・地域のことを知ってもらえる。
- ・世代を超えた交流ができ、活力が沸く。
- ・保護者にも知ってもらえる。
- ・心が温まる場所になる。
- ・将来的な人材育成に繋がる。



グループごとで熟議

【学校のメリット】

- ・主体的な人間の育成。
- ・多くの目で生徒を見守ってもらえる。
- ・思いやりの心の育成。
- ・見方、考え方、視野が広がる。
- ・職業選択の参考になる。
- ・社会参画への入り口となる。
- ・大人への理解が深まる。
- ・協働的な学びが体験できる。
- ・行動力、積極性が身につく。
- ・避難所訓練では、避難の際の行動を体験できる。
- ・地域のことを知ることができる。
- ・ボランティアに向けた意識を育てることができる。
- ・知らなかったことを知ることができる。



グループごとに発表

【共有メリット】

- ・お互いに顔見知りとなれる。
- ・声をかけやすく、見守る・見守ってもらえる関係ができる。
- ・地域に貢献できる。
- ・お互いのコミュニケーション能力が高まる。
- ・地域の所属感が高まる。
- ・地域愛、郷土愛が育つ。
- ・達成感を味わえる。



共有メリット発表中

(4) 事務連絡

- ・第3回開催は、令和7年2月20日(木)